

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>	テストテイキング I (全・英) -E3 Test Taking I (All Faculties, English)-E3				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 須川 いずみ			
群	キャリア形成科目群		分野(分類)	国際コミュニケーション		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習 (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>留学を考えても考えなくても、英語の重要性はますます高まってきている。しかも学生にとって使える英語力を身につけることが、就職に当たっては大きな課題である。本授業は、学生が留学する時の国際的英語スタンダード試験であるTOEFL iBT 60点を目標にして、高度な総合的英語力を獲得のために努力する。ただし、教室なので最初はTOEFL ITPで自分の実力を確認することから始める。そして、読む力、聴く力がスピーキング、ライティングでの高得点を得るためには不可欠になってきており、特にリスニング練習に時間を割くことになる。日常会話やレクチャーを聞いて問題を解く作業を多くする。また、TOEFLは最も標準で論理的な文章が使用されているので、辞書を使わずにエッセイや学術的文章を読むことを中心に読解問題を練習して、TOEFL iBTレベルの長い文章に慣れるようにする。そしてもっとも英語力の底上げに大切なボキャブラリー・ビルディングのために接頭語、接尾語、イディオムの語彙練習など様々な教材で学習する。基本的に授業はトレーニングの場なので、授業への参加が不可欠である。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL iBTで最低でも60点をとれるようにトレーニングする。 ・ 訳読ではない英語によるパラグラフ・リーディングを練習し、スピードを上げて、量を読むことができる。 ・ リスニングについて、細かい点より全体の意味が把握できるようにスピードに慣れる。 ・ 以上の下支えとして、イディオムを含む語彙力をつける。 									
【授業計画と内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業予定 <ul style="list-style-type: none"> 1週目 オリエンテーションとTOEFLトライアウトPartI 2週目 TOEFLトライアウトPartIIとIII 3週目 TOEFLトライアウトのライティングとレビュー 4週目 イディオム練習、リスニング、トピックセンテンスを意識した読み方 5週目 イディオム練習、リスニング、スキム・リーディング 6週目 イディオム練習、リスニング、TOEICリーディング 7～10週目 イディオム練習、リスニング、TOEFL iBTリーディング練習 11～13週目 TOEFL iBTライティング・スピーキング 14週目 実力TOEFL iBT 15週目 期末試験 16週目 フィードバック 									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
(成績評価の方法・観点及び達成度)									
単語テスト 20%、平常点 50%、試験 30%を基本に総合的に判断する。									
テストテイキング I (全・英) -E3(2)へ続く									

テストテイキングⅠ（全・英）-E3(2)

原則として出席の三分の一以上欠席の場合単位を与えない。

[教科書]

授業中に指示する
プリントを配るので、この授業ではファイルを準備する必要がある。
前後期で異なる教材を利用する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

完全にトレーニングの授業である。毎回の単語試験のための準備と授業で学習した語彙やイディオムの復習が必要である。期末試験でそれを確認する。また、BSの英語ニュースだけに留まらずBBCやCNNを聞いて英語のスピードに慣れしていくようにする。また英字新聞など普段から英語で読む習慣を持つようにする。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]